

ビジュアルコンピューティング講演会 2012-02

日 時:2012 年 12 月 20 日(木) 14:45~16:15

場 所:矢上キャンパス 12 棟 208 室

演 題:日本原子力研究開発機構における可視化紹介

講 師:宮村 浩子 氏

日本原子力研究開発機構 システム計算科学センター 研究員

概 要 : 日本原子力研究開発機構システム計算科学センターで取り組んでいる大規模データ可視化技術を, 耐震シミュレーション結果を用いて紹介する. 耐震シミュレーションでは, 原子力施設が地震によって振動を受けたとき, 施設のどこに力が加わるのかをシミュレーションする. このシミュレーション結果から, 地震発生後に「いつ」, 原子力施設の「どこで」, 地震の影響によって「どんなこと」が起こったのかを調べる必要がある. しかし, これらのことをすべて把握することは困難である. そこで, 「いつ, どこで」に相当する時間と空間を 1 枚の紙の上に広げ, 「どんなこと」をその紙の上に描く可視化手法を紹介する.

略 歴 :

2004 年 3 月	お茶の水女子大学大学院博士課程修了 博士 (理学)
2004 年 4 月	東京農工大学大学院生物システム応用科学府 助手
2007 年 4 月	東京農工大学大学院生物システム応用科学府 助教
2008 年 11 月	日本原子力研究開発機構 システム計算科学センター 任期付研究員
2010 年 4 月	日本原子力研究開発機構 システム計算科学センター 研究員

照 会:藤代 一成(情報工学科, 内:43279, fuji@ics.keio.ac.jp)